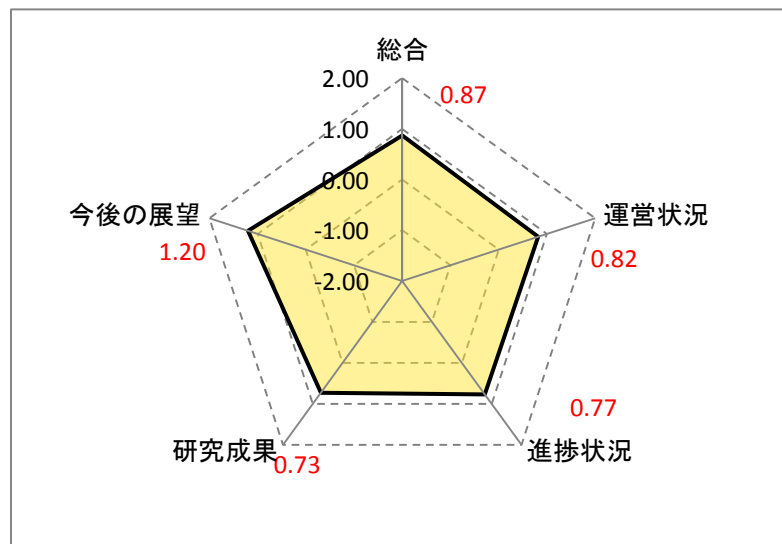


戦略的研究推進センター平成24年度研究プロジェクト評価

研究プロジェクト：萌芽研究部門

東北地方の農業復興に役立つ遺伝子群の探索と機能解析

	総合	運営状況	進捗状況	研究成果	今後の展望	得点の平均
得点	0.87	0.82	0.77	0.73	1.20	0.88
評価	B-	B-	B-	B-	B+	B-



(評価コメント)

評価者（15名）の平均値で示されている全体的な総合評価はB-であるので、特に優れている事もなく、特に劣るということもない、中間レベルの評価になっている。セシウムを吸収しないイネを育てるという研究の目標は、現在注目される課題であるという点で、期待できる。運営状況は、2名の研究者で構成されている中で、研究協力者の役割が明確でなく、組織的な研究体制になっているかどうか疑問がある。この点は、複数の評価者から指摘されているが、これから改善すべき点である。進捗状況は、概ね計画どおりに進んでいるという評価ができるが、「形質転換および再分化体の作成」の課題をどのように方向転換あるいは発展させるかの検討が必要である。研究成果は、論文発表がまだなく学術的観点からの成果が挙げているという評価はできない。一方で、新聞等に研究が紹介されていることは、発進力のあるプラスの評価である。学内の研究成果報告会での報告がなく、資料の提出もなかったため、大学が推進するプロジェクトとしての責任が果たされているとはいいがたく、マイナスの評価である。今後の展望は、東北の農業復興にこの研究が貢献しようとするプラスの評価がある一方で、現実的にセシウムを吸収しないイネを開発できたとしても、それが実用化される見込みは非常に薄いという意見もある。このあたりは、専門的な知識を持った評価者とそうでない評価者とで、意見が分かれている点であるが、島根大学の萌芽研究として後1年最大限、目標に近づくように結果を出して、是非よりよい研究成果を発信していただきたい。